

Together with farmers

佐久総合病院 看護部

Information Book



佐久総合病院統括院長
わたなべ ひとし
渡辺 仁



看護職を志す皆さんへ

佐久総合病院は、1944（昭和 19）年に開院した農業協同組合の病院です。「農民とともに」を合言葉に、常に地域のニーズに応えることを旨とし、一貫して地域医療を実践してきました。私たちの病院グループは現在、第一線医療から急性期・専門医療を分担する 3 病院と 1 診療所、2 つの老人保健施設、7 つの訪問看護ステーション、宅老所、人間ドックなどを有する保健・医療・福祉の複合体となっています。

開院した当初は総勢 7 人であったスタッフ数も、今では 2,300 人を数えます。なかでも看護部は 1,200 人を超え、専門職の技術力と豊かな人間力で、チーム医療の要として活躍しながら、佐久総合病院と地域を一丸となって支えてくれています。

看護に対する高い理想を実現するうえでは、人材育成が欠かせないと考えています。当院は充実したプログラムを備えており、それを通じて職場の仲間から、そして地域から信頼される看護師が数多く育っています。

私たちは皆さんをお待ちしています。夢のある地域づくりを、ぜひ一緒に実践していきましょう。

Hospital philosophy 病院理念

佐久病院は「農民とともに」の精神で、
医療および文化活動をつうじ、住民のいのちと環境を守り、
生きがいのある暮らしが実現できるような地域づくりと、
国際保健医療への貢献を目ざします。



Nursing philosophy 看護部理念

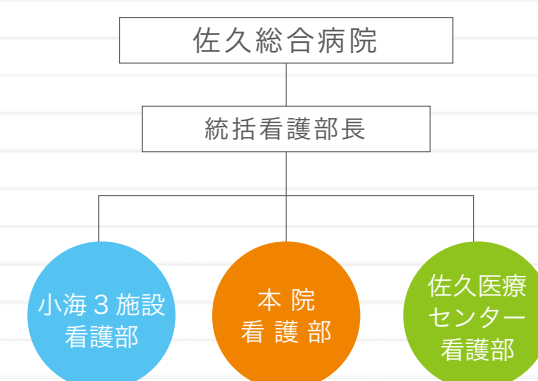
私たちは佐久総合病院理念に基づき、
農村および地域の尊い生命と健康を守り、
すべての人々がその人らしく明るく生きられるように、
看護をつうじて援助します。

佐久総合病院グループ 看護部方針

- 1 専門性を高め、それぞれの施設の役割に沿った
質の高い看護を提供する
- 2 専門職として自己研鑽に努める
- 3 病院経営の健全化に組織の一員として
参画する



佐久総合病院看護部組織図



信頼される質の高い看護を

佐久総合病院グループは、長野県東信地域の佐久医療圏において、佐久総合病院（本院）と佐久医療センター、小海分院の 3 病院を拠点に医療を提供しています。佐久総合病院(本院)と小海分院は保健・医療・福祉・介護を中心に、開院から続く「地域のなかへ」入ってゆく医療に取り組んでいます。佐久医療センターは三次救急と高度専門・急性期医療に特化しており、東信地域の基幹病院の役割を担いながら、県内外の紹介患者さんを受け入れています。

この他、診療所や老人保健施設、訪問看護ステーションなどを有し、各施設が専門性を活かしながら連携・協働して地域に根ざした活動を続けています。

地域に信頼される看護を提供するためには、人材育成が要と考えています。急性期から訪問看護・保健・福祉・介護まで、幅広い分野に関われることを強みとして、一人ひとりが専門職として自律した看護師を目ざせるよう教育支援に力を入れています。

看護職としての夢や可能性を実現させ、地域に貢献していくために、私たちと一緒に働きましょう。

佐久総合病院統括看護部長
まるやま みすず
丸山 美鈴



病気の看護だけでなく、病人の看護が大切

今の医学は「病気をよく診るが、病人は忘れている」と、よくいわれます。よくそういうようなお医者さんがいるではありませんか。患者の社会的立場や、経済的な負担や、家庭内の事情や、だれにもいえない精神的な悩みなどを、まったく無視して、レントゲン画像や血液検査の成績だけで、まるで懸賞のパズルでも解くみたいな態度で診察しているお医者さんを——。それをそばでみていて、何かものたりなく、いや、義憤さえ感じた経験はありませんか。

しかし、では、ナースの皆さんご自身はどうでしょうか。みずからかえりみて、果たして「病気の看護のみならず、病人の看護までを」やっていると、はっきり断言できるでしょうか。

いうまでもなく、ほんとうの看護は、単に患者の身のまわりの世話をしたり、単に検温・検脈や、浣腸・導尿や、注射などの診療の補助をするだけではありません。ほんとうに、患者の親身になり理解者となって、患者の安心を得させるには、——また患者の精神面にまで立ち入っての鋭い病状観察を行なうには、患者そのもの、その人間を深く把握しなければならない。

それには、患者の「見かけの」身体や精神状態の観察だけではとうていだめです。その背後にある、家庭や社会の環境なり条件なりを知らずして、どうして、その「人間」つまり社会的人間あるいは精神的人間を深く把握することができるでしょうか。



佐久総合病院名誉総長 若月 俊一



地域に愛され、
信頼される看護を目指します。

統括看護部長
丸山 美鈴



1944(昭和19)年に開院した佐久市臼田の地に「本院」があります。309床を有し、一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟、精神科病棟、人間ドックで構成されています。また、訪問看護ステーションや老人保健施設、宅老所などをあわせて運営し、「暮らし」に視点をいた看護と介護、地域ケア活動に力を入れています。

このほか、人間ドック科による各種検診(健診)や健康管理センターによる地域へ出向いた集団健康スクリーニングなどの保健予防活動を通じて、住民の皆さまの健康づくりをお手伝いしています。

地域包括ケアシステムの推進においては、地域住民の皆さまがその人らしい人生を送り、住み慣れた地域で安心して最期まで暮らせるよう病院の立場から支援しています。

人と人のつながりを大切にした地域づくりに保健・医療・福祉・介護をもって協同の精神で取り組む当院では、自分の夢やライフワークに合わせたキャリアアップができます。

私たちと一緒に地域に根ざした医療を実践しましょう。

施設概要

- 所在地 〒384-0301 佐久市臼田197
- 許可病床数

一般病棟	126床
地域包括ケア病棟	42床
回復期リハビリ病棟	48床
精神科病棟	休床中
人間ドック	23床
合計	309床
- 入院基本料

一般病棟	10対1
地域包括ケア病棟	13対1
回復期リハビリ病棟	13対1
- 関連施設
 - ・佐久総合病院老人保健施設 94床
 - ・健康管理センター
 - ・訪問看護ステーション 3カ所
(うち居宅介護支援事業所併設1カ所)
 - ・訪問看護ステーションサテライト 2カ所
 - ・精神科訪問看護ステーション 1カ所
 - ・居宅介護支援事業所(単独)2カ所
 - ・宅老所「やちほの家」

(2025年4月1日現在)

保健予防活動

当院が力を入れている保健予防活動は、予防・早期発見をめざし、1959(昭和34)年に地域ぐるみの活動として旧八千穂村全村健康管理活動が始まりました。その後1973(昭和48)年に健康管理センターを開設し、以来長野県下全域で巡回健診方式による集団健康スクリーニングを実施してきました。現在は年間約3万人の方に受診いただいております。健康診断や各種がん検診、保健指導など住民のニーズに合わせた事業を展開するほか、企業などのストレスチェックも実施しています。

地域づくりやコミュニティ・ネットワークづくりを大切に、一人でも多くの方が年1回の健康チェックを受けていただけるよう、健康格差の改善に取り組んでいきます。



地域ケア活動



地域ケア科を拠点に、佐久市北部から南佐久の小海町まで4カ所の訪問看護ステーションと3つのサテライトを有し、365日24時間体制で在宅ケアをしています。在宅生活を送る患者さんのもとを訪問し、その人らしい生活の維持・回復をめざしながら多くの看護師が活躍しています。

また、地域ケア科はNPO法人「うすだ美図」と共同で佐久市臼田健康活動サポートセンター(通称：うすだ健康館)も運営しており、地域の保健室活動などを通して地域の皆さまに健康・予防・生活面の情報をお伝えしたり、相談をお受けしたりしています。

地域の中へ入り、地域と一緒に取り組んでいく活動を展開し、看護を通じて生きがいのある豊かな地域づくりの一翼を担います。

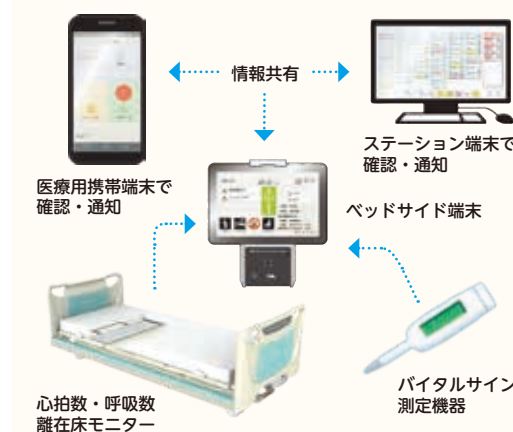
スマートベッドシステム

本院北病棟の一部で「スマートベッドシステム」を導入しています。このシステムでは、ベッドのマットレス下に設置されたシート型センサ、ベッドサイド端末(モニター)、体温計・血圧計などのバイタルサイン測定機器、電子カルテ、医療用携帯端末が総合的に連動して患者さんの情報を共有できます。

シート型センサは容体変化を早期に感知し、かつ離床センサとしての機能も果たします。ベッドサイド端末は、バイタルサイン測定機器をかざすことでデータが自動入力され、業務の効率化・入力ミス防止に役立っています。

得られた情報は勤務室の端末やベッドサイド端末で確認することができ、患者さん・スタッフの双方にやさしいシステムです。

スマートベッドシステム



本院Photo Gallery



1947(昭和22)年から続く病院祭



患者さんのクリスマスコンサート



1961(昭和36)年から続く農村医学夏季大学講座



一緒に働きませんか？
地域医療支援病院で

副統括看護部長
堀内 清美



佐久医療センターは救急・急性期医療、専門医療を担う紹介型の病院です。救命救急センター、脳卒中・循環器病センター、がん診療センター、周産期母子医療センター、高機能診断センターの5つの機能があり、専門性が高く、高度な診断機器を用いながらさまざまな職種でチーム医療を行っています。

また、地域医療支援として地域の医療機関と紹介・逆紹介をしながら連携を深め、住民の皆さんが安心して暮らせるような医療のネットワークづくりに努めています。

看護においては、「農民とともに」の理念のもと患者さんによりそい、思いやりのある看護を実践しています。そのためにキャリアラダー研修を手厚くし、豊かな人間性を備えた地域に貢献できる看護職員の育成を目指しています。

また、特定行為研修修了看護師をはじめ20名以上の専門・認定看護師が志を高く活発に活動しており、2021年度からは特定行為研修の指定受入機関として地域の看護師の教育にも力を入れています。

私たちは、やりがいがあり働きやすく、魅力のある職場づくりを目指しています。皆さんも私たちと一緒に、当院でチーム医療を実践してみませんか。

施設概要

●所在地 〒385-0051
長野県佐久市中込3400-28

●許可病床数	一般病棟	372床
	救命救急病棟	20床
	ICU	16床
	HCU	20床
	NICU	6床
	GCU	12床
	感染症病床	4床
	合計	450床

●入院基本料	一般病棟	7対1
	救命救急病棟	4対1
	ICU	2対1
	HCU	4対1
	NICU	3対1
	GCU	6対1

(2025年4月1日現在)

フライトナース

佐久総合病院では信州ドクターヘリの基地病院として2005年、長野県で初めてドクターヘリが配備されました。2014年の佐久医療センターへの移設を経て、現在までの運行回数は通算6,000回を超えています。

当院では、10名余のフライトナースが活躍しており、フライトドクターとともにヘリコプターに搭乗して短時間で重症患者さんがいる現場にかけつけ、初期治療をしながら病院へ患者さんを搬送します。救急現場では、救急度・重症度をすばやく判断するための知識や技術、医師をはじめさまざまな職種とのコミュニケーション能力が求められます。



中央手術室



佐久医療センターでは、年間約5,000件の手術を行なっています。そのうち約800件は緊急手術であり、そのため手術室は24時間対応できるよう体制を整えています。

看護師は術中にメディカルチームの一員として医師をはじめとした多職種と協働しながら協調性や判断力を発揮し、ハイリスク、緊急度の高い手術への対応まで幅広く活躍しています。

高度の血管造影装置を備えたハイブリッド手術室のほか、2022年度からは手術支援ロボット「da Vinci Xi」も導入し、より低侵襲で安全で安心な手術をできる環境が整っています。

患者サポートセンター

入退院支援室

各科外来で入院が決まった患者さんへの入院説明、準備・調整などを行なっています。特に手術を受ける患者さんには術前検査や術期に関するマネジメントを行い、安全に手術を受けていただけるよう取り組みます。また、インスリンなどの自己注射や在宅酸素療法などを行なっている患者さんが自宅でも安心して生活できるよう支援します。



地域医療連携室

患者さんが地域で安心して生活できるように、医療・介護福祉をはじめ各関係機関と連携しながら、紹介・退院・転院において支援・調整を行います。高度・専門医療を担う地域医療支援病院として、入院患者さんが適切な時期に適切なところに退院・転院できるように、入院早期または入院前から医療ソーシャルワーカーと協働して支援しています。

佐久医療センターPhoto Gallery



佐久医療センター秋祭り



病院敷地内「いきいきの森」



さまざまなコンサートが開催される「いこいの広場」



K 小海分院 koumi Branch Hospital

施設でも、皆が笑顔。

副看護部長
友野 薫

小海線の列車がカタコトとのどかな音を響かせます。八ヶ岳の東側に位置し、千曲川の源流近くの自然豊かな地に小海分院・小海診療所・老人保健施設こうみがあります。

小海分院は、南佐久南部唯一の入院施設として、いのちとくらしをまもる活動をしています。救急から在宅療養支援まで幅広くみることができることが魅力です。

小海診療所は、在宅支援診療所として訪問診療を展開し、併設された訪問看護ステーションとともに、医療と看護の側面から住み慣れた地域での暮らしを支えています。

老人保健施設こうみは入所や通所によって、介護者を支える大きな力となっています。

患者さんののぞむ暮らしの実現のために、つなぐ看護を展開する小海3施設で一緒に働きませんか？

施設概要

小海分院

- 所在地 〒384-1103
長野県南佐久郡小海町大字豊里78
- 許可病床数 一般病棟
(地域包括ケア病床8床含む) 50床
医療療養型病棟 49床
合計 99床
- 入院基本料 一般病棟 10対1
(地域包括ケア病床含む)
医療療養型病棟 20対1

小海診療所

- 所在地 〒384-1102
長野県南佐久郡小海町小海4269-9
- 関連施設 訪問看護ステーション 1カ所
居宅支援事業所 1カ所

老人保健施設こうみ

- 所在地 〒384-1102
長野県南佐久郡小海町小海4487-1
- ベッド数 80床

(2025年4月1日現在)

K 小海診療所 koumi Clinic

小海診療所は外来のほか、在宅支援診療所として訪問診療を展開し、併設の訪問看護ステーションとともに医療と看護の両面から暮らしを支えるために取り組んでいます。JR小海駅の駅舎に併設され商店街に隣接している利便性を活かしながら、小規模医療機関ならではの即応性のある親切・丁寧な対応を心がけ、地域に親しまれる医療機関をめざしています。

また、各福祉施設と連携して地域包括ケアを展開する立場から、研修医の「地域保健・地域医療研修」の施設としての役割も果たしています。

佐久総合病院グループ各施設と密に連携し、在宅と外来、入院において切れ目のない医療を提供できるよう、地域に根ざした活動をしています。



K 老人保健施設こうみ koumi Health Care Facility for the Elderly



老人保健施設こうみは、入所や通所によって介護者を支える大きな力となるよう取り組んでいます。南佐久郡南部地域で唯一、理学療法士と作業療法士が在籍しており、リハビリテーションを提供できる施設です。通所サービスでは温泉風の岩風呂があり、隣接した土村公園では、季節になるとヤマユリやハナモモ、ツツジがきれいに咲きます。

利用者さんは平均年齢87歳前後と高いですが、在宅復帰をされる方も多くいらっしゃいます。

医療機関や在宅介護サービス事業所との連携をますます密にしながら、南部地域に心のこもった質の高い介護サービスを提供していきます。

地域へ出向く活動

小海三施設(小海分院、小海診療所、老人保健施設こうみ)では地域の行事に参加しながら、医療・保健・福祉の啓発活動を行なっています。南佐久郡南部地域の各町村で行われる健康福祉祭りでは、時代劇をモチーフにした演劇を上演したり、健康や疾病予防をテーマにしたパネル展示をしたり、さまざまな企画を通じて「住民の皆さんが楽しみながら自分の身体や医療のことを知り、関心が持てる」よう取り組んでいます。

“農村に入ったら、演説ではなく演劇をやれ”という宮沢賢治の教えに基づいた地域の中へ入る活動、若月俊一医師の目指した「医療の民主化」の運動精神を今も色濃く引き継ぎ、実践しています。



小海Photo Gallery



ご自宅へ訪問看護



小海ふるさと祭りぎおん祭



小海ふれ愛秋祭り

生き生きはたらく **スペシャリスト** たち

診療看護師

・診療看護師
高見澤 巧



診療看護師は看護学を基礎に医学を学びます。看護の「看」と医学の「診」を合わせた総合力でタイムリーに病態を判断し、円滑に診療につなげ、重症化などを防止するとともに、患者さんのQOL向上を図る役割があります。

医学の「診る」を磨くために、指導医のもと総合診療科外来における医療面接や身体診察、また入院患者や老健施設入所者の病態変化への対応を経験させていただいています。そのほか、気管カニューレ交換・胃瘻交換においても指導を受けながら経験を積んでいます。

看護師経験で培った「看る」と合わせて、その患者さんにとって最善の医療を提供できるように心がけて活動していきます。

認定看護師

・がん化学療法看護
認定看護師
新井 まき枝



今は、日本人の2人に1人ががんになる可能性のある時代です。がん治療において薬物療法は、手術や放射線療法と並んで重要な役割をもっています。がん薬物療法は年々進歩してきており、さまざまな種類のがんや進行がんにも適応が拡大してきています。

がん薬物療法の多くを佐久医療センターの外来で行なっています。副作用症状を予防し、早期発見、早期対処が行えるように、適切な投与管理や症状マネジメントが重要になります。患者さんや患者さんを支えるご家族が安心して治療を受けられるようにお手伝いしていきます。

特定看護師

・心不全看護認定看護師
・特定行為研修修了看護師
青木 芳幸



皆さんは「特定看護師」をご存知でしょうか？ 特定看護師とは、高度な専門知識や技術をもって診療の補助を行う看護師のことです。私は心不全看護認定看護師として5年のキャリアを積んだ後、さらにケアの可能性を広げるため特定看護師の道を選択しました。

現在は循環器グループ専属の看護師として、心臓血管外科患者さんの術後管理や心不全看護外来などの役割を担い、ICUから外来まで横断的にケアを提供しています。

日頃から「目の前の患者さんには何が必要か？」を考え、多職種と連携しながら迅速で質の高いケアの提供を目指しています。

当院の専門・認定看護師

診療看護師 (1名)

専門看護分野 (2名)

小児看護、遺伝看護

認定看護師分野 (26名)

救急看護、糖尿病看護 (2名)、緩和ケア、集中ケア、がん化学療法看護 (2名)、手術看護、がん性疼痛看護、小児救急看護、訪問看護、在宅ケア、皮膚・排泄ケア (2名)、感染管理 (3名)、乳がん看護、摂食・嚥下障害看護 (2名)、慢性心不全看護、精神看護 (2名)、認知症看護 (3名)

認定看護管理者 (3名)

特定行為研修修了者 (14名)



佐久総合病院で活躍する **介護福祉士**

佐久総合病院グループ内には、病院だけではなく、老人保健施設や居宅介護支援事業所などがあり、さまざまなフィールドで介護福祉士が専門性を活かして活躍しています。

● 老人保健施設 ●

デイケアやショートステイによる在宅支援や入所によるケアプランに沿った個別ケアを提供しています。

● 回復期リハビリ病棟 ●

機能的自立度評価表 (FIM) を活用した退院支援を行います。

● 地域包括ケア病棟 ●

退院支援や介護指導、終末期ケア、院内デイケアを実施しています。

● 療養型病棟 ●

医療依存度が高く長期療養が必要な患者さんへのアクティビティや終末期ケア、退院支援を行います。

● 地域ケア科・居宅介護支援事業所 ●

介護の現場で培った経験をもとにケアマネジャーとして活躍します。宅老所では地域に根ざした認知症ケアを提供します。

※ライフワークバランスを配慮し、出産、介護など、夜勤勤務ができない状況になっても働き続けられる職場があります。



佐久総合病院 老人保健施設
介護福祉士長 **花岡 奈保美**

私は老人保健施設、認知症治療病棟、地域包括ケア病棟で、院内デイケアや家族への介護指導などを行い退院支援の経験をしました。さらに、長期療養が必要な方の活動や終末期ケアを通して介護福祉士としてのスキルの幅を広げることが出来ました。以上のように様々な部署で、その場所でしか得られない体験は、自身の経験値として無駄ではなかったと感じております。そして、他職種で構成するチームに介護福祉士が加わり専門性が活かせることは佐久総合病院グループの強みです。また、継続教育支援に注力し介護福祉士キャリアラダーに基づき看護部教育委員会と協働し、研修の企画運営を行っています。介護理念の一節に「その人の望む心豊かな生活を支え愛ある介護を提供します」とあります。介護福祉士としてあなたの想いを叶えてみませんか。

介護福祉士 介護実践能力

レベル	介護実践能力の各レベル定義	レベルⅠ 必須研修	
レベルⅠ	基本的な介護手順に従い必要に応じ助言を得て介護を実践する	6月	・介護福祉士の役割・チーム医療と他職種連携・介護とは・介護概論・キャリアラダー
レベルⅡ	標準的な介護計画に基づき自立して介護を実践する	7月	・安全管理と対策・接遇・感染対策
		8月	・テクノエイド・ポジショニング・褥瘡ケア
レベルⅢ	標準的な介護計画に基づき個別性を活かして介護を実践する	9月	・認知症の基礎知識・せん妄・情報管理・記録
		11月	・外部講師による介護過程・自立支援
レベルⅣ	幅広い視野で予測的判断を持ち介護を実践する	12月	・リフレクション・教育体制と支援・評価について・介護観

※専門・認定看護師の資格を取る際には補助・身分保証などの支援制度があります。

一人ひとりの キャリアアップを 目指して

C 入職1年目イベントカレンダー
alendar

佐久総合病院看護部教育理念

私たちは、病院理念、看護部理念、倫理綱領に基づいて質の高い専門的能力と豊かな人間性を備えた地域に貢献できる看護職員を育成します。



※フィジカルアセスメント…問診・視診・触診・聴診・打診を用いて、身体的、健康上の問題を明らかにし、看護ケアに役立てます。



夢をかなえる

キャリアラダー

◆ 必須研修
■ 選択研修

レベル毎定義	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
基礎的能力 共通定義	- 基本的看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践 - ルーティーンの作業を担当、チームメンバーの一員として行動する - 自己の課題を発見し自主的な学習に取り組む	- 標準的な看護計画に基づき自立して看護実践 - 看護チームで自律してメンバーシップを発揮 - 自己課題達成に向けて学習課題を展開し看護実践に取り組む	- ケアの受け手に合う個別化看護を実践する - 看護チームではリーダーシップを発揮する - 長期展望に立ち自己の学習活動に積極的に取り組む	- 幅広い視野で予測的判断を持ち看護実践する - 組織から求められる役割を認識し、チーム医療を推進する - 看護の専門性を高め組織運営に活用する	- より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護実践する - チームの要として創造的なマネジメント力を発揮する
看護実績能力	- ニーズをとらえる力 - ケアする力 - 意思決定を支える力 - 協働する力	◆ 集合研修Ⅰ・Ⅱ 基本の知識や技術の研修 ◆ フォローアップ研修 ◆ 1年間のまとめ	◆ フィジカルアセスメントⅢ ◆ 看護過程・記録研修 ◆ 退院支援研修	■ 専門研修 選択 ・災害看護 ・救急看護 ・がん看護 ・摂食嚥下 ・NST研修 ・エンドオブライフケア ・医療事故防止のためのワークショップ	■ 専門研修 選択 ・災害看護 ・救急看護 ・がん看護 ・摂食嚥下 ・NST研修 ・エンドオブライフケア ・医療事故防止のためのワークショップ
組織的役割遂行能力	- 厚生連職員として地域に貢献する力 - 教える力 - 想像し改善する力 - コミュニケーション - チーム力	◆ 院内留学	◆ 実地指導者研修 リーダーシップ	◆ リフレクション研修 リーダーシップ理論 ◆ 健康管理活動研修	◆ リフレクション研修 組織論 経営戦略論 コーチング ファシリテーション
自己教育・研究能力	- 学び続ける力 - セルフコントロールする力 - 内省する力	◆ 看護実践を使ったリフレクション研修	◆ 看護実践とPNS事例を使ったリフレクション研修 ◆ ケーススタディー ◆ 看護研究研修	◆ チームの課題解決を使った看護リフレクション研修 ◆ PNSリフレクション ◆ コーチング ■ 看護研究研修 ・eラーニング ・院内研修	◆ 職場の課題解決を使った看護リフレクション研修 ■ 看護研究研修 ・eラーニング ・院内研修 ◆ 組織の課題解決を使った看護リフレクション研修 ■ 看護研究研修 ・eラーニング ・院内研修

自施設での特定看護師養成

佐久医療センターは2021年2月、看護師特定行為における指定研修機関の認定を受け、同年4月から県内病院の看護師を対象に特定看護師を養成しています。

研修を修了することで、通常は医師が行う医療行為のうち特定の行為(特定行為)について、医師の手順書をもとに行うことができますようになります。特定行為は診療の補助として、より実践的な理解力、思考力・判断力ならびに高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされる行為であるため、より自律した看護師として、現場で患者さんのニーズにタイムリーに応えることができるようになります。

また、特定看護師は質が高く安全な医療を提供するための「チーム医療」を推進するうえでも欠かせない存在であり、近年、その役割がより重要視されてきています。



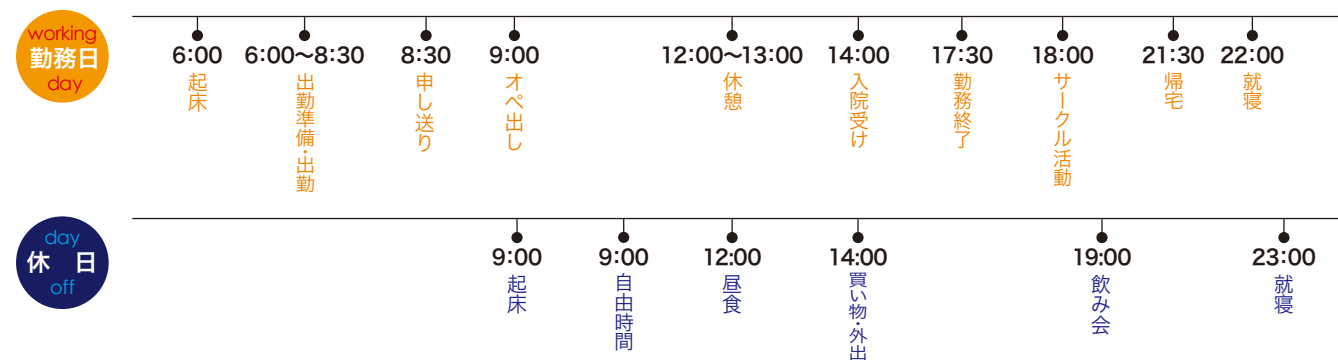
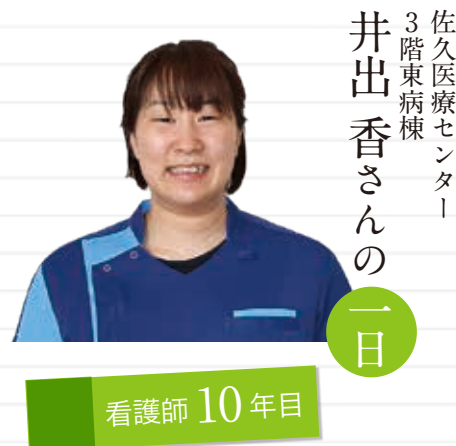
OSCE（客観的臨床能力試験）

先輩たちはどんな生活をしているの？

就職して4年目に病棟が変わり、現在は循環器や呼吸器の疾患を抱える患者さんが入院する病棟で働いています。職場が変わることへの不安もありましたが、病棟の雰囲気があたたかく相談しやすい環境だったのですぐに馴染むことができました。スタッフの皆さんに支えられながら、学びの多い日々を送っています。

サークル活動ではバレー部に所属しており、全国大会に出場したこともあります。メンバーそれぞれ職種は違いますが、目標に向かって仕事と両立しながら日々の練習に励んでいます。

現在は感染予防のため一部自粛していますが、休日には映画鑑賞や友達との旅行、同期や先輩との飲み会を楽しんでいます。



友人との旅行で



同期との飲み会



厚生連体育大会で、チームメイトと

サークル活動も活発です

文化活動が盛んなことも当院の特長です。サークル活動を通じて、職種や世代を超えた幅広い人と知り合うことができます。

一生大切にできる出会いがここにあります。

茶道、華道、舞踊、写真、ギター、吹奏楽、コーラス、野球部、バレー、卓球、劇団 などなど



GDK 吹奏楽団



華道班



コーラス部



舞踊班



バレー部



卓球部

はたらく環境を大切にしています。

たくさんの職員がはたらく病院だから、一人ひとりのライフスタイルに合わせた支援ができるよう体制を整えています。

● 保育所の設置 ●

佐久総合病院院内保育所「ガーコの家」と佐久医療センター院内保育所「コッコの家」を設けています。週2回の24時間保育、病児保育も行なっています。

● 育 児 休 業 ●

子どもが1歳の誕生日を迎える日の前日まで、取得することができます。



● 育児のための短時間勤務制度 ●

小学校就学前の子どもがいる方は週30時間の勤務で正職員として働き続けることが可能です。1日の労働時間を短くする、就業日を指定するなど、子育てに合わせた働き方をすることができます。

● 子育てサロン ●

月1回、講師を呼んで育児に関わる話を聞いたり、お母さん同士で悩みや相談を自由に話しあったりするサロンを開催しています。

● 復帰支援研修 ●

再就職、育休明けで職場復帰をされる方を対象に、復帰前研修を実施しています。

● 家 賃 補 助 ●

アパート家賃費用半額（上限2万円）まで家賃が補助されます。

● 介 護 休 業 ●

家族に介護が必要な方がいる場合、3ヵ月まで取得申請をすることができます。

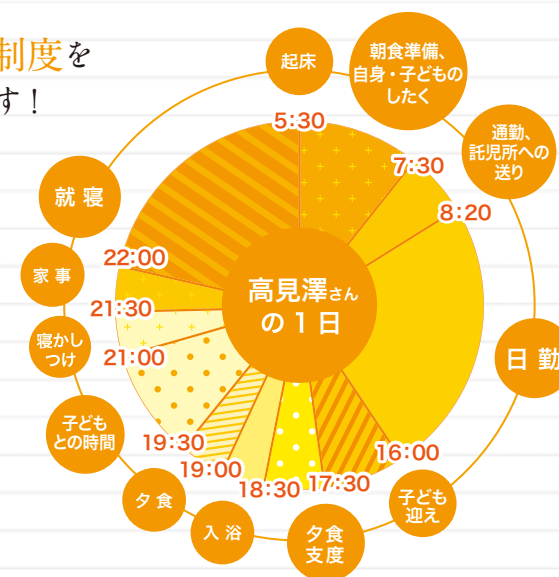
R はたらくお母さんレポート

短時間勤務制度を利用しています！

佐久医療センター 外来 検査・治療部門 高見澤 美樹さん

育休後から外来の検査・治療部門に勤務しています。時短制度を利用したり、働く場所を相談しながら復帰しました。

規則正しい生活を送ることができ、子どもとの時間もゆっくり取ることができてきます。自分のライフイベントに合わせて働く場所も相談できる働きやすい環境です。



現場に工夫あり！

看護師の“腰”まもります！

看護師は日常業務のなかで患者さんの移送・移乗・体位変換の介助をすることが多く、「腰痛」は職業病といっても過言ではありません。

そのため当院ではテクノエイド支援室を中心に、福祉用具を積極的に医療の現場に取り入れ、人力のみで持ちあげない、抱えない看護を目指しています。

佐久医療センターでは、150床分の天井走行リフトを設置しています。これは急性期病院では珍しいことです。本院の北病棟においても一部の病室、浴室、トイレにリフトレールを設置し、必要なときにリフトが使用できるようになっています。

患者さんにも、看護・介護をする職員にとっても優しい環境づくりを進めています。

本院天井走行リフト



テクノエイド研修の様子

